

期末レポートの執筆 (6/11)

作成：田中重人 (東北大学文学部准教授)

1 期末レポートについて

- テーマを決めて、7/9 に「構想報告書」を提出 (下記参照)
- レポート本体を 8/10 (火) 17:00 までに提出
- 「執筆経過」を 8/13 (金) 17:00 までに提出

提出先は、以下のとおり。

手渡しの場合： 田中研究室 (文・法合同棟 2F)

田中が不在のときは 205 室のレターケースへ

郵送の場合： 自分の住所を記入した葉書を同封すること

〒 980-8576 東北大学文学部日本語教育学研究室 田中重人

電子メールの場合： PDF ファイルのみ受付

いずれの場合も、手元にファイルを残しておくこと。郵送・電子メールの場合は、返信を確認すること。

- 分量は A4 用紙 6 ページ以上
- キーワードを 3~5 個つける (下記参照)
- 文献 2 本以上を参照すること
- 図または表を 1 枚以上ふくめること
- 提出前に誰かに読んでもらうこと (謝辞に明記する)
- その他の様式は中間レポートとおなじ

期末レポートの構成は以下のとおり：

種別・表題・著者名・所属・日付

キーワード

本文

注 (もしあれば。脚注を使用してもよい)

文献表 (文献 2 本以上について必要な書誌情報をあげる)

謝辞

テーマは、各自の興味に則って決める。ただし、時間的な制約の中で、きちんと先行研究にあたった上でオリジナルな内容を盛り込めるテーマでなければならない。大きな研究につながるようなテーマの中で、できるだけ小さい範囲にしばりこむのがよい (教科書 pp. 13-21)。

2 先行研究の探索

先行研究を探するには、詳しい人（教員や大学院生など）に聞くか、入門書・概説書を探すかして、基礎的な情報をまず仕入れるのが常道である。たとえば、その分野の常識的な知識、基本的な用語、既存の論争や学派の違いなど。この段階では、図書館よりは書店のほうに分がある。初学者・一般読者向けの雑誌がある分野では、そのバックナンバーに目を通すのもよい。

その上で、網羅的に文献を探してみる。解説書などの文献表から「芋づる」式に探したり、文献データベースを利用する。図書館のサービスを活用すること。

3 構想を立てる

- 目標規定文（論文の目標を1文で表現したもの：教科書 pp. 22-24）
- 目次案
- 表題をつける
- キーワードをえらぶ

表題は、内容を具体的に示したものでなければならない。内容に関する情報を詳しく載せるほうがよいが、一方で短いほうがよいというトレードオフ関係がある。副題を活用するなどして、簡潔でわかりやすい表題を工夫する。

表題の例:

- 冷春化：1950-2000年の平均気温の変動
- スチール製空き缶の効率的利用法

キーワードは、本来はデータベースでの検索用である。論文の内容を端的に表すことばを3-5個程度えらぶ（通常は、表題にふくまれていないことばをえらぶ）。

キーワードの例:

- 気候変動, 温暖化, 温室効果ガス, エル・ニーニョ
- 鉄スクラップ, バクテリア・リーチング, 分離工学

4 文献表の作成

文献を特定するための情報を「書誌情報」(bibliographical information) という。著者・出版年・表題・出版社などが書誌情報である。単行本であれば最後の「奥付」、雑誌論文であれば冊子そのものの表紙とその論文の最初の頁に必要な情報がたいていのっている。

論文の末尾に「文献」というセクションを設け、論文で引用した文献をそこにすべて掲げる。「文献」セクションの形式については、次々回以降の授業であらためて説明する。

5 謝辞

草稿を読んでコメントしてもらったり、内容に関する改善を助けてもらうなど、執筆にあたって便宜を図ってもらった人への謝辞を最後に書く。何について感謝するのかを明確に書くこと (教科書 p. 208)。必要なら、所属を括弧書きでつける

謝辞の例:

- 「草稿に対する 氏の助言によって文章が大幅に改善された」
- 「xx 節の は 氏 (xx 大学 学部) のアイディアによる」
- 「本稿で使用した データは 研究所所蔵のものを貸与していただいた」

6 構想報告書

下記のような様式で構想報告書を作成し、7/9 授業時に提出。ワープロで作成することがのぞましいが、手書きも可。

氏名：
学年：
学籍番号：

1. 表題 (仮)：
2. 目標規定文：
3. これまでに収集した資料の一覧：
4. 資料収集と執筆にあたっての問題点 (こういう文献が見つからない、など)

7 執筆経過

期末レポートを書くにあたって、構想報告書以降の執筆の経過をまとめる。

- 収集した文献・資料 (最終的に使わなかったものもふくむ)
- 構想のまとめかた
- 執筆にあたってとくに工夫・苦労した点
- 読んでもらうことで改善された点

8/13 (金) 提出期限

8 課題

末尾に文献表 (すくなくとも5本) がのっている雑誌論文をひとつとりあげ、そこにのっているすべての文献について同定する。その本や雑誌の当該号がどこの図書館に所蔵されているか、というところまでわかればよい。結果について、次のことをまとめて提出。

- (1) その雑誌論文の書誌情報
- (2) 文献表部分のコピー。簡単に同定できたものに 、同定に苦労したが最終的に同定できた文献に 、同定できなかったものに × をつける

(3) x に該当するものがある場合は、どのような点で苦労したか、同定できなかった原因はなにかをまとめる

東北大学附属図書館『東北大学生のための情報探索の基礎知識』（基本編および人文社会科学編）を参考にする
とよい。